

きんもくせい

令和6年 学校教育だより

March **3** 第360号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711(内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



地域と共に

写真提供/つるせ台小学校

中学校が待っている

水谷東小学校 六年

福島 智司

ドキドキ
ドキドキ

だんだん中学校から
声が聞こえてくる

なんだか楽しそうな声

たぶんぼくたちを
楽しみに待っている

準備万端 ばんたん

新しい生活が
楽しみだ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

ICTの活用が飛躍的に発展し、一人一台端末を活用した取組が本市でも進められています。このような現状の中で、ICTを最大限に活用し、個々の能力に応じて学ぶ「個別最適な学び」と、異なる考え方をもち寄って学びを他者と深めていく「協働的な学び」の一体的な充実が求められています。そこで今回は、これまでの学びにICTの新たな可能性を生かすとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をふまえた主体的・対話的で深い学びの実現につなげていきたいと考えました。具体的には、プログラミングソフトを活用した「日本の音階を使って旋律をつくらう(5年生)」の題材における授業実践を試みました。

の実現を目指した指導の工夫
的な学びの実現を目指して～

指導者 ふじみ野小学校 教諭 小林 理沙

自分で「選択できる」学び

- 旋律づくりの条件を示し、その中で課題解決に向けて取り組みました。
- ① ミ・ファ・ラ・シ・ド・ミの五音音階を使うこと
- ② 指定のリズムを使うこと(教科書掲載の二種類から一つを選択)
- ③ 最後は「ミ」か「シ」の音で終わること
- ワークシートへの記譜の仕方を「音符で表現するもの」と、



本郷中学校 1年
中田 航太郎

合唱コンクール本番

各クラス、パートリーダーや合唱コン実行委員を中心にアドバイスをし合うなど、全員で協力しながら日々練習してきました。また、クラスの中のみならず、他学年との合同練習をするなどして、自分たちの歌声の精度を高めていきました。本番が近づくにつれ、生徒の真剣さも声に現れるようになりました。本番では、緊張しつつも一番の歌声をホールに響かせることができました。全員が「金賞」という目標に向かって心を一つに歌うことができ、よかったです。

「階名で表現するもの」のどちらかを選んで記録できるように工夫しました。音符で書き表すことに苦手意識がある児童でも、階名で書くことによって、自分の表現したい旋律を簡単に記録できること、また、旋律の動きが視覚的にわかりやすいため、旋律の動きを工夫する際の視点としても主体的に取り組むことができました。

自分で選ぶことができるようにしたことで、楽器を演奏することが苦手な児童でも、音楽づくりに意欲をもって取り組むことができました。



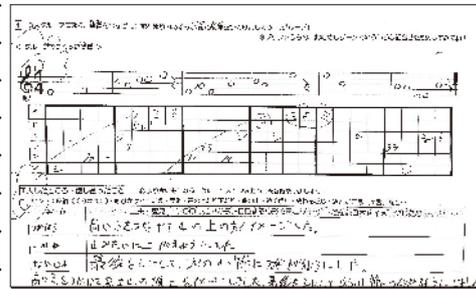


グループ活動内での個人評価

三人組になり、それぞれがつくった旋律を互いに発表して聴き合い、話し合いながら旋律を組み合わせて曲をつくりました。旋律の動きとイメージの共有を図り、まとまりのある音楽を三人でつくりまします。グループ活動の際の個人の評価の見取りについて、それぞれがどのように旋律づくりに関わったかを知るために、自分が出した意見についてワークシートに記入するようにしました。その際に、「●●したいから、

主体的・対話的で深い学び ～個別最適な学びと、協働

「する」の形で書くように指定し、音楽の要素と自分のイメージを関連付けて表現するようにしました。



グループの学びを「個」の学びに戻す

●様々な音色を選べるため、自分の日本のイメージに合った楽器の音を出して試行錯誤しながらつくることができました。

●自分で考えた旋律を、一瞬で音にすることができ、児童は多くありません。そのため、教師が机間指導した際、児童が考えた旋律をその場で音にすることで、実際の旋律の流れを音で把握し、「もっとこうしたい」

という意欲につながっていき、なかなかなかすぐに音に表現できない児童へは、教師がその場で演奏してあげると、どんどん意欲的に進めることができました。

●同じグループだった友だちと、相談しながらつくる児童もいました。はじめの六小節までは同じ旋律なのに、最後の二小節が異なるだけで三者三様の音楽ができて、あがる面白さを味わいました。



おわりに

今回の授業を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることで、子どもたちのイメージがどんどんと膨ら

特別支援教育

小さな「できる」の積み重ね —朝のリズム運動を通して—

富士見市立富士見特別支援学校 教諭 清水幸子

本校の児童生徒にとって運動をすることは、体づくりの観点だけでなく、日常生活に必要な動きの習得としても重要なことであると考えています。そのため、毎日、二十分間の朝運動を全学部で行っています。ここでは、小学部の朝運動についてご紹介します。

小学部の朝運動では、リズム運動を行っています。音楽に合わせて、七つの運動（①歩く②走る③後ろ歩き④サイドステップ⑤片足立ち⑥高這い⑦横になる）を行います。片足立ちをトンボ、高這いをウマというように運動名を生き物の名前にして伝えることで、動きのイメージをもちやすくする工夫をしながら、児童の実態に応じて、楽しく運動をすることができています。

このリズム運動の成果として、朝運動以外の時間においても児童の変容が見られるようになったことが挙げられます。例えば、「高這い」の姿勢がイメージできず、雑巾がけが難しい児童がいましたが、高這いを習得することで雑巾がけができるようになりました。教員にとっても、児童ができる動きを知り苦手な動きを克服させることは、よりよい活動や支援内容を考えるうえで、非常に大切なことです。

今後も、児童の成長に役立つ工夫を考え、よりよい授業づくりを進めていきたいと思っております。

んでいき、「もっとこうしたい」「こんな風にするとうかな」と、試行錯誤し、よりよい音楽をつくるために粘り強く取り組む姿が多く見られました。今後も、音楽の得意不得意に関わらず、さらに学習を深め、どの児童も輝くことのできる授業をつくっていききたいです。

指導・講評

ふじみ野小学校長

庄司 政之

児童が授業で「わかった・できた・おもしろかった」と充実感や達成感を得ることが、授業をとおした児童の変容と言えます。また、教師が変わるのは、自ら授業を実践して児童が変容したときです。今回の小林教諭の授業実践は、児童と教師に確かな変容が見られた授業であったと思います。



多様な「個」の「和」

鶴瀬小学校 保護者 金子 勝

小六の息子。将棋は五分。オセロは歯が立たず、電子機器や妻の取り扱いに至っては教えを乞い、間もなく背も抜かれ、勝てるのは腹に付いた肉の厚みと歳の差、そう覚悟を決め向き合っております。

さて昨今、「多様性」という言葉を耳目にします。一方、白黒をはっきりさせて容赦なく叩く。答えはシンプルで二つ。そんな「不寛容」を感じます。世の中には様々な価値観があり、正しいことも一つではない、違いを認め合うことが必要なのではないでしょうか。

では、「多様性」。身に付くのは教育の場と考えます。運動ができる人、勉強ができる人、芸術に秀でた人、各自が他者との違いを知り、受け入れ、尊重し、それぞれが得意分野を伸ばし、カバーし合い、その「和」が全体を押し上げる。学校や家庭、地域はその実践の場であると思うからです。「生きる力」。それは多様な「個」が豊かに育まれ、「和」



する環境にこそ宿るのではないのでしょうか。そんな思いから私も微力ながら学校と地域のボランティアに参加し、子どもたちと触れ合っています。
よい香りがしてきました。今夜の夕食は妻が担当。食卓には家族の健康を気遣った料理が並びます。でも、私はブルッコー、息子は玉ねぎが苦手。ここにも「多様性」が顔をのぞかせます。が、私は息子の玉ねぎを、息子は私のブルッコーを食し、料理は完全食となります。かくして我が家の平和も保たれております。



主体的に問題解決に取り組む児童の育成

諏訪小学校

諏訪小学校では今年度、学力向上のために、学校研究として算数に力を入れて取り組んでいます。これからの予測困難な社会の変化に主体的に関わり、自ら課題を見付け、解決していく「生きる力」を育むためです。

授業では、富士見市で作成した授業の流れ「富士見スタンダード」を全クラスで活用し、問題解決的な学習に取り

組みました。これまでに習ったことを使って問題を自分の力で解き、答えにたどり着く過程や理由を友達と共有します。一人一人の答えを、一人一台端末を使って大型モニターで共有し、伝え合ったり、児童が手元の端末で確認したりもしました。児童へのアンケートの結果、「自分から進んで問題を解こうとする」児童が約10%増えました。



主体的に問題解決に取り組む力を伸ばすとともに、友だちの意見や考えから、学びを深めることができます。児童を育成していきます。

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

サードプレイスとして

水谷中学校 ふれあい相談員 森本 礼美

自宅ではない、学校や職場でもなく、居心地のよいところを第三の場所という意味で「サードプレイス」と呼ぶそうです。たとえば、カフェや習い事のように、リフレッシュしたりリラックスできたりする空間を考えるとわかりやすいと思います。

そのような場所に「さわやか相談室」が当てはまるのではないのでしょうか。

私は水谷中学校のさわやか

相談室の相談員をし、訪れた生徒の声に耳を傾け、一人一人に寄り添うことを意識しながら日々過ごしています。

ここは学校の中にあるもので、相談の有無にかかわらず、休み時間などに誰でも気軽に足を運べる場所です。

中学校の三年間は勉強や部活動だけでなく、様々な経験をする期間です。楽しいことも苦しいこともあるはずですが、嬉しいときに

は、趣味や楽しい話題など何でも共感したいです。

もちろん、心配事や悩み、不安がこみあげてくるのも自然なことです。疲れたり、気が低下してしまったりしたときにも立ち寄ってみてください。一緒に向かい、考えながらステップアップのきっかけにも利用できます。

相談室は「サードプレイス」としての役割を担い、落ち着いたで過ごせる場を提供しています。気持ちのバランスを整え、エネルギーの回復につながるようにサポートをします。

西中学校では、SNSを安全に活用することを目的として元埼玉県警捜査一課刑事で、現スクールポリスとして活躍されている佐々木成三さんを講師として招き、非行防止教室を開催しました。講演ではSNSの危険性として、デジタルタトゥーは一生消えないことや、誹謗中傷は逮捕される犯罪であること、闇バイト



情報社会を生き抜くために

西中学校

豊かな中学校生活を笑顔で送れるよう、共に生きる力をはぐくみたいと思います。



とのつながりなど、使い方によっては犯罪となる等の話がありました。

本校の生徒の九割以上が携帯電話を所持しています。佐々木さんのリアルな経験に基づく話を生徒たちも真剣に聴き、自分たちの身近なところに犯罪や危険が潜んでいることを改めて実感していました。「もしトラブルにあつてしまつたら、すぐ大人に相談する

教育課題特集

生きる力を

ことを忘れないようにしたい」と生徒の感想にもあり、未然にSNSの事件を防ぐとともに、SNSの扱い方や相談する大切さを再認識できたよい機会になりました。



コーディネーターとして思うこと

関沢キッズクラブ 松本 環奈

「みなさん、おはようございます！」

月一回の地域子ども教室関沢キッズクラブは、元気な挨拶から始まる。すっかり顔なじみの子もいる。私が地域子ども教室のコーディネーターになって気付けば十年近く経とうとしている。始めは保護者として付き添いで参加していたが、コーディネーターのお話をいただいた時、今まで自分の子どもたちがキッズクラブで楽しい経験をしてきたのだから今度は自分が地域の子どもたちに、楽しい経験をしてみらうお手伝いができたらと思ひ、今日に至る。新型コロナの影響でキッズクラブは三年近く活動休止だったが、令和四年度から再開した。嬉しいことにコロナが明けてからのほうが参加者が増えていく。スポーツ活動から作業まで、メニューを決めるのは正直頭を悩ませている。でも子どもたちにいるいろいろな経験を学校以外でもらうことができるのであれば、とても有意義なことだと思っている。キッズクラブの活動がきっかけでそのスポーツに興味をもった声や、習い始めましたなどの声を聴くととても嬉しく思う。また、工作などでは、大人でも思い付かないようなことをやっていて、子どものもつアイディアに驚かされる型にはまってしまうのは大人のほうである。子どもの可能性は無限だ。その可能性を広げるお手伝いを今後もしていきたいと思っている。

学校以外でもらうことができるのであれば、とても有





水谷小

本年度も終盤を迎え、子どもたちの成長を感じる季節となりました。新型コロナウイルス感染症にかかわる制限も緩和され、以前の日常が戻ってきました。
学校TODAYでは、各学校が創意工夫を凝らした特色ある活動を紹介させていただきました。保護者の皆様や地域の方々のご協力をいただき、実りある活動ができました。子どもたちにとって、その時にしか味わえない貴重な経験になったと思います。
四月より子どもたちは一つ上の学年に進級します。今の学年で学んだことを生かし、次の学年でも頑張ってくれることを期待しています。一年間ありがとうございました。

大盛況!わんぱく祭り!!

4年ぶりに保護者の方を招待して、わんぱく祭りを行いました。どのお店にも工夫が詰まっていて、校内に笑顔が溢れていました。



つるせ台小

保護者の方々とは壇の花植え

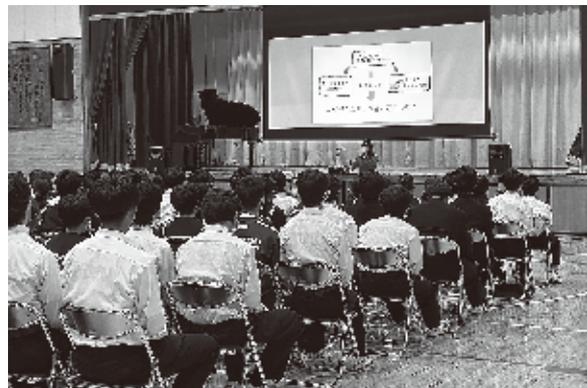
芝生の校庭の花壇に保護者の方々とは花を植えました。子どもたちがお家の方々とは笑顔で活動する姿が印象的でした。



開校150周年 子どもたちの思いを乗せて

「5・4・3・2・1・鶴小150周年!」子どもたち一人一人の夢や願いを乗せた約600の風船が一斉に空へ舞い上がりました。

鶴瀬小



富士見台中

キャリア教育講演会

オペラ歌手の水野友貴様をお招きし、進路選択や海外生活の苦労や喜びについてお話いただきました。会の最後には素敵な歌も披露していただきました。

|| 教育相談室より ||

教育相談室のご案内

お子さんの教育上の心配事は、どんなことでもお気軽にご相談ください。

「相談内容」

- 一般教育相談
- ・ 「学校に行きたがらない」「乱暴や非行がある」「落ち着きがない」等。
- * 公認心理師・臨床心理士による心理相談も受けられます。

○ 就学相談

- ・ 「子どもの就学先に不安がある」「発達に関する気になる」等。

○ 特別支援教育相談

- ・ 「特別支援教育の情報が知りたい」「発達障がいと診断されたが」等。

○ 言語相談

- ・ 「言葉がはつきりとしなない」「発達の段階に比べ、言葉が遅れている」「耳が聴こえにくい」等。
- * 言語聴覚士が対応します。

「相談方法」

- 電話相談
- ・ 匿名での相談も可能です。
- 面接相談
- ・ 電話で予約の上、実施します。
- 訪問・出張相談
- ・ ご希望により、公民館等の公共施設や、ご自宅での相談も可能です。



南
畑
小

創立150周年記念赤とんぼ発表会

11月10日に保護者や地域の方をお迎えして、キラリ☆ふじみで「赤とんぼ発表会」を行いました。



水
谷
中

防災教育への取組

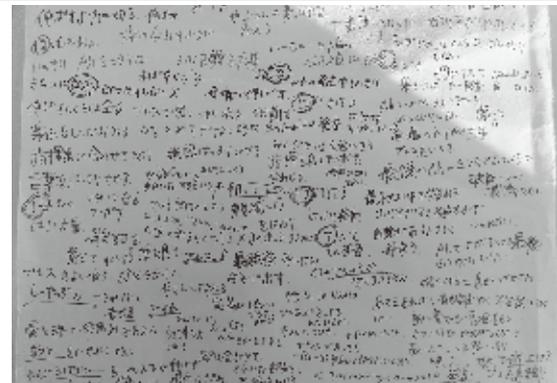
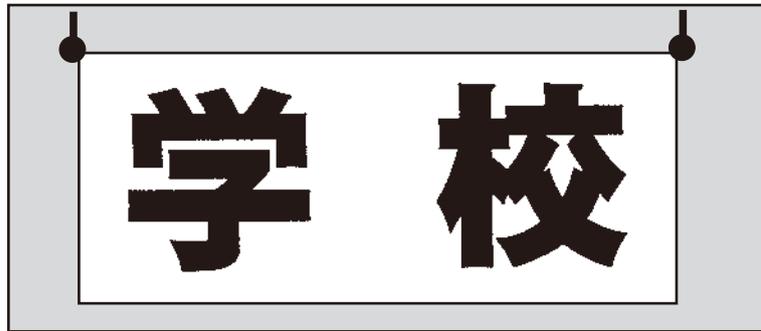
毎年、地域との連携の一環として、「水谷東・柏町地域合同防災訓練」に多くの1年生が参加しています。地震体験・炊き出し訓練など、今回の貴重な経験を忘れずに、いざという時に生かして欲しいと思います。



特別
支援
学校

プロ野球選手がやってきた!

「夢と豊かな心を育む講演会」事業で元プロ野球選手 星野智樹さんが来校し、夢を叶えることの大切さを教えてくれました。



本
郷
中

目標は金賞 (合唱コンクール)

一人一人がアドバイスをし合い協力しながら日々練習をしてきました。皆が目標に向かって心をついに歌うことができてよかったです。



ふ
じ
み
野
小

4年ぶりのオースタムフェス

子どもたちが笑顔で遊んだり、一生懸命に店番や呼び込みをしたりする姿が学校にあふれました。

Q「香書に困っています」
A「香書」とは、柔軟仕上げ剤など様々な香料の影響により、気分が悪くなったり、体調を崩してしまったりすることです。自分にとって快適な香りであっても、他人には不快に感じる場合があります。そのため、様々な香料を使用する際はご配慮いただきますとともに、香りや化学物質に敏感な児童生徒がいる場合は、香原から距離をとる、換気を行う等の対応をお願いいたします。また、各学校でも対応いたしますので、学校または教育相談室にもご相談ください。

教育相談室

- ・ 開室日：月、金。(祝・祭日を除く)
- ・ 受付時間：9:00～17:00
- ・ 所在地：上南畑1317
- ・ TEL 0491253153 13
- ・ FAX 0491253151 01

*見学や体験通室も可能です。

「教育支援センターあすなる」

- ・ 登校できない状況にあるお子さんに対し、自立に向けた支援を行います。
- ・ 月、金の九時～十四時三十分を開室しています。
- ・ 軽スポーツ、コミュニケーションゲーム、体験活動、教育相談、個別学習等を行います。

*相談は無料です。

教育委員会だより

卒業おめでとございませす

春の暖かな日差しの中、市内小・中・特別支援学校の卒業生の皆さんが新たな門出を迎えます。保護者のみなさまには、お子様の成長を振り返り、感慨もひとしおのことでしょう。

卒業生のみなさんは、通い慣れた学校や一緒に過ごした仲間たちとの別れに寂しさを感じながらも、これからの生活に期待を膨らませているのではないのでしょうか。新しい場所で、たくさんの人との出会いを通して、広い視野をもった心豊かな人に成長することを願っています。

在校生のみなさん、4月から1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新しい目標に向かって、たくましく元気に学校生活を送りましょう。

令和6年度富士見市立小・中・特別支援学校入学式

期日:4月8日(月) 入学見込み人数は1月20日現在

	開式時刻	入学見込人数
鶴瀬小学校	10:50	82人
水谷小学校	11:00	150人
南畑小学校	10:50	70人
関沢小学校	10:55	76人
勝瀬小学校	10:50	104人
水谷東小学校	11:00	27人
諏訪小学校	10:55	112人
みずほ台小学校	13:00	91人
針ヶ谷小学校	10:45	35人
ふじみ野小学校	10:50	68人
つるせ台小学校	10:45	83人
富士見台中学校	10:00	197人
本郷中学校	9:00	121人
東中学校	9:30	103人
西中学校	9:15	119人
勝瀬中学校	10:00	221人
水谷中学校	9:15	105人
富士見特別支援学校	13:55	12人

《お詫びと訂正》

12月号(359号)の「生きる力をはぐくむ」PTAの取り組み鈴木広高さんの最後の一文「思います。」が表記されていませんでした。ここに訂正し、お詫びします。

二月五日に関東地方の広い範囲で積雪があった。今年はずっとドレスタイヤを新しく買い替えたのでちょっと自信をもってその日を迎えた。

次の日早めに出勤し、恒例の雪かき。日頃使っていない筋肉を使う貴重な日。

さて、校庭や中庭は真っ白な絨毯。いつもと違う澄んだ空気にちよっぴり心が躍る。子どもたちもきつとそんな気持ちをもって登校したことだろう。

その日、本校では、クラスや学年単位で雪遊びを楽しんだ。雪玉を作ったり、ふかふかの雪に思いっきりダイブしたり。思い思いに楽しんだ。午後校庭や中庭等を見て回るとその跡があちこちに。足跡、手形、そしてかわいい雪だるま達。楽しそうなお子だもたちの声が聞こえてくるようだ。

しかし、日が経つにつれ、毎日少しずつ小さくなっていく雪だるまたち。解けていく雪にちよっぴり寂しさを感じた。解けるもの。夏のあの日に慌てて食べたかき氷。同じ解けるでも焦って忙しかったっけ。難しい問題が解けると、「やったあ。」と誇らしい気持ちが残る。「解ける」についてちよっつと考えた一日。

(齊藤七実)



新しい学習との出会い

ふじみ野小学校 教諭 小林 英里



ふじみ野小学校に異動して二年目。この間、いずれも三年生を担当しました。三年生といえば、児童にとって初めての「理科」。私は蝶が好きなので、どうして

を咲かせたり、魅力に気付いて校庭にとびだしたり。初めて真つ向から向き合うことで、新しい理科という学習と出会いました。

またもうひとつの初めては、「STEM教育」です。本校では総合的な学習の時間において、様々な教科の内容も含めながら問題解決的思考を育てる授業を行っています。今までの授業と

は異なる進み方でも子どもたちは臆することなく取り組んでいました。これまでは、初めてのことに對して尻込みしたり、「先生、これでいいの?」と何度も聞いたりする児童が年々増えているように感じていました。ですが、この二つの「初めて」には、そのような様子は見られませんでした。よく観察してみると、何かワクワクしていたり、予想と異なる結果に「なんで!」とつぶやいたり、心配になる前に心や体が自然に動いたりしているような様子でした。

編集日記

二月五日に関東地方の広い範囲で積雪があった。今年はずっとドレスタイヤを新しく買い替えたのでちょっと自信をもってその日を迎えた。

次の日早めに出勤し、恒例の雪かき。日頃使っていない筋肉を使う貴重な日。

さて、校庭や中庭は真っ白な絨毯。いつもと違う澄んだ空気にちよっぴり心が躍る。子どもたちもきつとそんな気持ちをもって登校したことだろう。

その日、本校では、クラスや学年単位で雪遊びを楽しんだ。雪玉を作ったり、ふかふかの雪に思いっきりダイブしたり。思い思いに楽しんだ。午後校庭や中庭等を見て回るとその跡があちこちに。足跡、手形、そしてかわいい雪だるま達。楽しそうなお子だもたちの声が聞こえてくるようだ。

しかし、日が経つにつれ、毎日少しずつ小さくなっていく雪だるまたち。解けていく雪にちよっぴり寂しさを感じた。解けるもの。夏のあの日に慌てて食べたかき氷。同じ解けるでも焦って忙しかったっけ。難しい問題が解けると、「やったあ。」と誇らしい気持ちが残る。「解ける」についてちよっつと考えた一日。

二月五日に関東地方の広い範囲で積雪があった。今年はずっとドレスタイヤを新しく買い替えたのでちょっと自信をもってその日を迎えた。

次の日早めに出勤し、恒例の雪かき。日頃使っていない筋肉を使う貴重な日。

さて、校庭や中庭は真っ白な絨毯。いつもと違う澄んだ空気にちよっぴり心が躍る。子どもたちもきつとそんな気持ちをもって登校したことだろう。